

(様式3)

## 平成28年度 学力向上マニフェスト

荒川区立尾久西小学校

本年度の指導の重点 (昨年度の成果と課題を踏まえて)	取組の概要(実施内容)	評価指標 取組指標(教師側指標) 成果指標(子ども側の指標)
【朗読推進事業】 (新規)	◇「自分の思いや考えを豊かに伝え合う児童の育成」を主題とし、全教育活動において「音読・朗読」を根付かせる。 ◇朗読の指導を認定プロフェッサーから受ける。	○教育活動として「音読・朗読」を大切に、国語学習だけではなく、全教育においてその活用を図る。 ★楽しんで音読に取り組み、進んで学習する。
【学校図書館活性化事業】 (新規)	◇旧PCルームを第三図書館と位置づけ、調べる学習の活性化を図るとともに、多目的な学びのスペースとしても活用する。 ◇荒川区版「推薦図書リスト」を活用し読書活動を推進する。	○「推薦図書リスト」を活用し児童の読書量の増進と共に、読書内容の質の向上を図る。 ★「荒川区図書館を使った調べる学習コンクール」や「全国調べる学習コンクール」に挑戦する。
【学習漢字定着事業】 (新規)	◇すべての学習の土台となる漢字の「読む力・書く力」を伸ばす。	○発達段階に応じた漢字の力を見極め個に応じた指導をする。 ★自己の目標に向け漢字学習を進める。
【算数・国語大好き推進事業】 (継続)	◇小学校1・2年生から、一人ひとりの児童の状況に応じたきめ細かい指導を実施する。	○少人数指導・TTにより、習熟度別の指導をする。 ★つまづきを知り繰り返し学習する。
【あらかわ寺子屋事業】 (継続)	◇放課後、個別指導を行う。週4回、1回45分。指導者6名。月・火・木・金曜日に実施することで学習意欲を高め、基礎基本の学習を進める。	○個別に指導する。 ★各学力調査の結果を向上させ、宿題の提出等、学習意欲を高める。
【英語教育推進事業】 (継続)	◇全学年における週1時間「英語科」の授業を実施する。	○英語に親しみ楽しく学習することで英語により積極的にコミュニケーションをとろうとする態度を育成する。 ★自ら積極的にコミュニケーションを図ろうとする。
【タブレットPCを活用した学校教育の充実事業】 (継続)	◇児童の理解力に応じた個別指導をより効果的に行い、基礎基本の学習を定着させる。 ◇「尾久西タイム」において、タブレットPCを活用する。	○タブレットPCを活用することで、ノートによる学習履歴と連動した個別指導を効果的に行う。 ★タブレットPCを活用する。
【全校漢字・計算テストの取組み事業】 (継続)	◇年間3回。8割以上を合格点とし、合格できるまで取り組ませる。	○ワークシートを工夫し、合格するまで必要な指導を繰り返す。 ★1回目の合格率85% ★3回目までに全員合格

【評価】 成果指標の達成度から評定(A・B・C)を決める

A: 達成度90%以上 → 目標達成と見なし新たな目標を設定する

B: 達成度が9割未満5割以上 → 継続実施 C: 達成度が5割未満 → 目標の見直し

※ 予算額よりも決算額が上回ることがないように、記載には十分注意をして下さい。

予算執行	取組の成果	評価
<p><b>【朗読推進事業】</b>  「自分の思いや考えを豊かに伝え合う児童の育成」を主題とし、全教育活動において「音読・朗読」を根付かせる。</p> <p>&lt;予算&gt; 230,000 円  &lt;決算&gt; 215,000 円  ・「音読・朗読」研究会講師報償費 215,000 円</p>	<p>○東京都教育委員会言語能力向上拠点校として、年間を通して研究を行い、成果を発表した。</p> <p>○国語科において、「音読・朗読」を毎時間設定することで、ある程度の定着を図ることができた。次年度は、日常の学習活動に根付かせるまで発展させ、継続する。</p>	B
<p><b>【学校図書館活性化事業】</b>  旧コンピュータールームを第三図書館と位置付け、調べる学習の活性化を図る。</p> <p>&lt;予算&gt; 536,384 円  &lt;決算&gt; 535,866 円  ・書籍 199,943 円  ・書架 335,923 円</p>	<p>○旧PCルームを第三図書館と位置づけ、絵本館及び調べる学習室として、また「あらかわ寺子屋」事業の実施場所等、多目的に活用することで、学びのスペースとして有益に活用できた。</p>	A
<p><b>【学習漢字定着事業】</b>  すべての学習の土台となる漢字の「読む力・書く力」を伸ばす。</p> <p>&lt;予算&gt; 33,480 円  &lt;決算&gt; 33,048 円  ・漢検用図書 33,048 円</p>	<p>○漢字用図書を購入し、学習漢字のみならず、児童が日常的に使用する漢字に興味をいやくようになった。</p> <p>○漢字能力検定試験の受験者が前回の 1.2 倍に増加した。一方、教科書の漢字習得率の伸びは十分ではないことから、次年度、定期考査等を設定し、更なる習得を目指す。</p>	B